

# 競技上の注意事項

## 1. 招集について

- 1) 密集を避けるため、招集所への集合時間を競技の10分前からとし、それ以外の選手は、招集所付近も含め、待機を禁止する。招集所へ入ることができる選手は、IDに記載された該当レースに出場する選手のみが招集所へ入ることができる。なお、棄権の場合は、レース開始予定時刻の1時間前までに所定の用紙（棄権届出用紙）に必要事項を記載の上、受付に届けること。
- 2) 各選手は、招集所でビニール袋を受け取り、プール入場時に持参する。IDおよび自レーンで脱いだ衣類等をすべてビニール袋に入れカゴにおくこと。

## 2. スタートについて

- 1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートをおこなった場合でも、出発合図員の号砲でスタートすること。
- 2) 聴覚障がいのある選手のスタート合図は、笛や発声による音声での合図の部分については、出発合図員の動作により表現するので、出発合図員に注目すること。（手話通訳はつかない。）

## 3. ゴールについて

- 1) 全選手が泳ぎ終わるまで自分のレーンで待機すること。待機した選手は、全選手が泳ぎ終わった後、審判長の2回のショートホイッスル後、1～4レーンの選手は原則として1レーン側のプールサイドから、5～8レーンの選手は原則として8レーン側のプールサイドから退水すること。
- 2) 聴覚障がいのある選手の選手は、役員の退水合図があるまで自分のレーンで待機すること。退水の合図後、1～4レーンの選手は原則として1レーン側のプールサイドから、5～8レーンの選手は原則として8レーン側のプールサイドから退水すること。

## 4. 表彰について

- 1) 決勝のレース終了後、各クラス3位入賞者までにメダルを授与する。ただし、2名までの場合は1位のみ、3名の場合は2位までメダルを授与する。今回は表彰式を行わないので、レース終了後、該当選手は、各自プールサイドのメダル引き渡し場所において受け取ること。（メダルの郵送は行わないので各自留意すること。）
- 2) 完泳した選手に記録証を授与する。記録証は選手受付で渡すので、競技終了1時間後までに各自取りに来ること。（記録証の郵送は行わないので各自留意すること。）
- 3) 連盟推薦で出場した選手にはメダルは授与されず、記録証のみ授与する。
- 4) 記録速報の掲示 ・ 記録速報の掲示は原則行わない。

日本知的障害者水泳連盟のホームページ（「リザルト＆ランキング」⇒2021年度リザルト）に随時アップロードする。

## 5. 前日練習会について

○5日（前日練習）1グループ（入場受付 9:30～、練習 10:00～13:00）

2グループ（入場受付 13:30～、練習 14:00～17:00）

○6日（大会当日）

午前の競技 プログラムNo.1～8（入場受付 8:00～、練習 8:30～9:00）

プログラムNo.9～14（入場受付 8:30～、練習 9:00～9:30）

午後の競技 プログラムNo.15～22（入場受付 12:30～、練習 13:00～13:30）

プログラムNo.23～32（入場受付 13:00～、練習 13:30～14:00）

※メインプール各レーン使用最大人数は、10名とする。

ダイビングプール各レーン使用最大数は、5名とする。

レーンの使用については当日の主催者の案内に従うこと。

メインプール、ダイビングプールでは、ボードのみ使用可。

6. アンチ・ドーピング、水着・所属表示等について

プログラム及び、日本水泳連盟のHP参照。

7. 国際登録選手と記録の公認・IPCのライセンスプログラムに基づき、WPSライセンス登録をした選手は、WPSへ記録を報告する。

8. 新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）対策について

○感染症対策として、下記の基準に一つでも該当する場合は、入場できない。

- ・参加日に「体調チェックシート」を提出できない場合
- ・「体調チェックシート」において感染症が疑われる場合
- ・参加日前日時点で感染症患者の濃厚接触者として行政から自宅待機を要請されている場合
- ・入場時の検温で37.5度以上の体温がある場合
- ・その他、大会への参加が不相当であると主催者が判断した場合

○入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をできるだけ2m以上（最低1m）をとって行動すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）。

○プール内でも他者との距離を2mを目安に（最低1m）保つこと。練習時各レーン内で待機する場合も、他者との距離を保つこと。

○大きな声での会話や応援は控えること。

○練習時、介助者等は大きな声での指示は控えること。

○呼気式のホイッスルの使用は禁止とする。

（電子ホイッスルは使用可能、必要に応じて各自で準備すること）

○唾や痰を吐くことは極力行わないこと。吐く場合は排水溝に確実に入れ、多めの水で流すこと。

○練習用具やマット等は共有しないで、各自で用意すること。

○観覧席や待機所では一つ席を空けて、前列と重ならないように距離を確保して座ること。

手すり等は適時清掃しますが、個人個人がこまめな手指消毒を心がけること。

○飲食について、観客席では原則禁止。ドリンクの回し飲みは避けること。

○自分の練習や競技が終了したら、速やかに会場から退館すること。

○参加の途中で発熱等感染症を疑う症状が出た場合は、その時点で参加をお断りする。

9. その他

○選手に同行する付添者、家族およびコーチ等は、選手に同伴して入場すること。

○主催者側の措置に従わない場合は、参加をお断りする。

○日本知的障害者水泳連盟の定める「新型コロナウイルス感染症対策指針」（ホームページに掲出）をよく読んで参加すること。

○忘れ物については、各日全競技終了後に処分する。